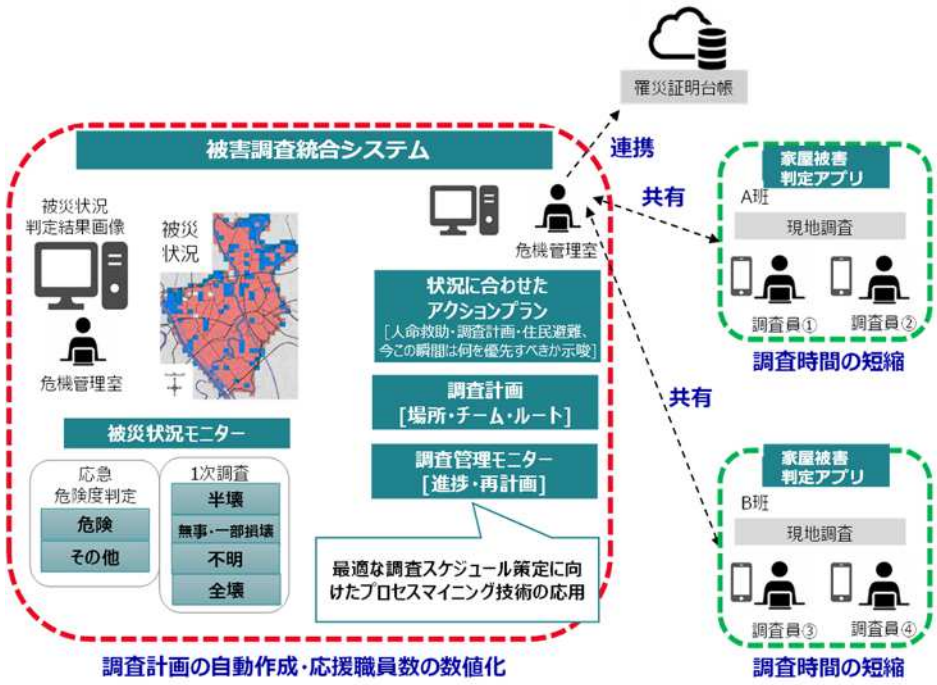
事業概要 【被災住家認定調査支援システム導入事業】

自治体名	愛知県半田市	人口	116,276人	事業費	7,703千円
事業概要	本事業は、大規模災害発生時の住家被害認定業務において、調査計画策定、住家被害認定調査、被災者台帳にデジタル技術を活用することで、罹災証明書発行を迅速化し、被災者の生活再建を早める。 内閣府は、「災害に係る住家被害認定業務実施体制の手引き」で、発災から1カ月以内の罹災証明書発行を目標に掲げているが、想定最大規模の被害発生時、従来の方法で調査を行うと2年程度かかる見込みである。				
具体サービス	【罹災証明迅速化ソリューション】 主に住家被害認定調査業務のデジタル化により、罹災証明発行に必要な期間を従来の約3分の2に短縮でき、被災者の生活再建に向けた公的支援を受けられる時期を早めることが可能となる。 【被害調査統合システム】 ①調査計画策定　②調査体制構築/班編成 ③罹災証明申請受付　④調査データ準備/管理 ⑤調査進捗マネジメント　⑥罹災証明書データ管理 【家屋被害判定アプリ】 ⑦住家被害認定調査（各種災害対応）				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①被害認定調査訓練の参加者累計人数 ②防災訓練による発災への備え	【アウトカム指標（成果指標）】 ①被災者（住民）による罹災証明書申請から交付までの時間削減 ②住家被害認定調査システム操作訓練の参加者満足度			